

2018.02.07：交通政策調査特別委員会 本文

○委員長　　今、副委員長からもいろいろとそんな形で委員会も進められたらと、私も思っているところがございます。

それで、参加できませんでした方々、今の御意見を聞きながら、また自分なりの考え方もあると思いますけれども、一言ずつお願いしたいなと思います。菅原委員、どうぞよろしくお願い致します。

○菅原正和委員　　視察に参加できなくて大変申しわけございませんでした。インフルエンザBになり、そしてこの間Aになりということで、この3週間高熱にうなされる状況でございましたので、大変申しわけございません。

今のお話を聞きますと、仙台市は今のところ公共交通で持っているけれども、地域交通というのはなかなか今のところ、そこまでいっていないという現状で、すみ分けというのは今後必要になってくるのかなと。すみ分けする場合でも、地域の方々の意見をまず一つきちんと取り入れ、ニーズがどういうものにあるか。要は、こっち側から与えるのではなくて、あちらの方からもちろんと対等に話を聞きながら進めていくことが、交通政策にとっては一番必要なのではないかと、そのように感じました。

あと、今の2市を視察なされたということで、仙台市とは非常に真逆で、結局中山間地とそちらのほうがすっかり分かれている、色づけがされたところを見てきたということで、仙台市に当てはめればどうなのかというよりも、仙台市も当然そういう色分けをどんどんこれからしていかなければだめなのかなと、そのように感じました。